

OUJ神奈川学習センター はるだより

通巻第66号

2016年5月26日発行

発行: 放送大学神奈川学習センター

〒232-8510 横浜市南区大岡2-31-1

url: <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/>

tel:045-710-1910 fax:045-710-1914



卒業修了祝賀パーティの神奈川学習センター記念写真(3ページに関連記事)

目次	「放送大学における面接授業」 客員教授 石原 修	2
	平成27年度学位記授与式と卒業生の集い	3~4
	学習センターニュース (入学者の集い/春のフェスタとサークル合同発表会)	4
	ゼミ・研究会のご案内	5
	Kーサポートからのお知らせ	5
	サークルからのお知らせ/同窓会だより	6~7
学習センターからのお知らせ	8	

神奈川(みなとみらい)



放送大学における面接授業

客員教授 石原 修

2014年春、私は横浜市南区大岡にある神奈川学習センターで講義ができる喜びと誇りを感じて受講生の前に立っていました。この場所にあった、横浜国立大学工学部を卒業した自分が、母校の敷地に建てられた放送大学で教えることができることに大きな感慨を覚えていたのです。学生として弘明寺のキャンパスでプラズマ研究を始め(写真参照)、今なおプラズマ科学を専門として学んでいます。フェムトメートル(10の⁻¹⁵乗メートル)より小さな、物質を構成する素粒子の極微の世界から、メートルやキロメートルで表わされる人間の住む空間、そしてハッブル半径(138億光年、10の⁺²⁶乗メートル)に広がる宇宙を舞台とする科学の広がりについて講義をしてきました。

面接授業では2日間で85分授業を8回にわたって行うというまさに集中講義そのものでした。受講者の年齢は20代から90代にわたり、また背景としての学習経験、職業経験においても多様な人々を相手にする講義でした。それは、これまで大学の工学部で講義してきた私にとって、一回一回が挑戦で、やりがいのある授業でした。授業中にどんどん発言し、質問することを求めたので、授業中に出てくる発言内容は素朴な疑問から、かなり専門的な質問まで多岐にわたりました。1日目の講義が終わり、アンケートに自由記述で、質問や感想を書いていただき、それをもとに翌日の講義を組みかえていきました。それはアメリカの州立大学の工学部で教えてきた授業に似た雰囲気がありました。弘明寺キャンパスを卒業後、アメリカに留学して、日本に帰国するまでカナダとアメリカの大学で教えていました。アメリカでは学生層がかなり多様であり、授業内で質問が積極的にあがり、私自身の授業の進め方をそれによって変化させていくというものだったからで



放送大学神奈川学習センターの敷地にあった横浜国立大学工学部プラズマ研究室にて。筆者は当時大学院生。

す。放送大学の面接授業では、受講者全員が意欲に燃えて、その輝く目に応えようとこちらも一所懸命になりました。多様な受講者からの率直なアンケートがいつも二通りあったことでもわかります:一方で脱線が多かったという意見に対して、脱線が興味深かった、また話題が多すぎるのでしぼるべきという意見に対して、話題が豊富で科学が俯瞰できてよかったというように。放送大学学歌が示すように講義の内容は進みました。「あまたの星々のなかの この地球にあって」—プラズマ核融合反応によって輝く星のこと、太陽プラズマの影響下にある惑星のこと、磁気圏プラズマの中に存在するわれわれの地球のこと、「われらはまなぶ 世界を 自分を われら どこから来て どこにゐるのか」という学歌の問いかけに関連して宇宙創成のクォーク・グルーオンプラズマにも言及し、「生きるとは知ること 知ることはよるこび」、そして「開かれた大学 放送大学」で終わる学歌のように、授業を通して壮大な宇宙に存在するプラズマ空間と、宇宙を構成する物質と、究極の素粒子の世界、あるときは数式もまじえながら、受講生とともに知る喜びを分かち合えたのではないかと、2年間の面接授業を思いかえすところです。積極的にかかわっていこうとする中で成長していく受講生の思いと、それに応えようとして準備をする中で成長していく私が教室と言う独特の空間を作っていく、それがまさに教育空間であると、放送大学の面接授業をするたびに思ったことでした。



【新任教職員紹介】

放送大学神奈川学習センターに4月1日付で採用になりました。

客員教授	上川 孝夫	金融
客員教授	関口 博正	財務会計
客員教授	高木 純一郎	加工学
客員教授	高木 秀明	青年心理学
客員教授	持田 幸良	植物生態学
客員教授	茂木 一衛	応用音楽学
客員教授	山田 俊治	日本近代文学研究
総務係員	安保 祐美子	
教務係員	高木 めぐみ	
教務係員	小林 百合子	

【退任教職員紹介】

放送大学神奈川学習センターを3月31日付で退任されました。

客員教授	浅野 幸弘	証券投資
客員教授	田中 則仁	国際経営論
客員教授	初川 満	国際法
総務係員	下田 恵津子	
教務係員	中野 菊夫	
教務係員	片野 克己	

平成27年度学位記授与式と卒業生の集い

3月26日(土)渋谷のNHKホールで、平成27年度の学位記授与式が行われました。神奈川学習センターからは、たくさんの1学期・2学期の卒業・修了生が参加し、多くの方がホール1階前列に集って、卒業の喜びを分かち合い、記念の写真を撮るなどしていました。また、

授与式終了後には、品川プリンスホテルに会場を移して、卒業・修了祝賀パーティーが開かれました。神奈川学習



センターに割り当てられた2つの丸テーブルの周りに、卒業・終了生と池田所長、藤田事務長、同窓会役員が集まって、卒業までの苦労や、新たな学びの目標などを語り合っていました。

学位記授与式に先立つ、3月19日(土)神奈川学習センターにて、卒業生の集いが開催されました。

学部45名、大学院修士4名の学生が集い、池田所長、佐栞同窓会長と客員教授の先生方からお祝いの言葉があり、つづいて、所長表彰と名誉学生の紹介、そして、表彰を受けた、西野敏男さんがスピーチを行いました。

集い終了後、新井ゆう子先生の指導で、26日の学位記授与式に向けて、放送大学学歌の練習が行われました。引き続いて、同窓会による、卒業修了祝賀会、お茶とお菓子を味わいながら、肩肘張らない話に花が咲きました。同窓会役員の司会が入り、参加者のみなさんに、一言ずつお話していただきました。長い人生を経て卒業という着地点に達した喜びや、次の学びに向かって再び沸き上がる情熱の話に、客員の先生方、会場のみなさんが、聞き入り感銘を受けていました。

なお、今年度神奈川学習センターの卒業・修了生

は、学部310名(内3月卒業193名)大学院修士24名でした。

所長表彰を授賞して 原田 洋一

卒業証書さらに所長表彰を授与して頂き、深く感謝いたします。

初めて放送大学に選科履修生として入学したのは、1987年30代の頃、そのときは、1年も経たずに落ちこぼれてしまいました。前期は試験を受け結果も良かったのですが、後期は通信指導も提出せず、したがって試験も受けられず不合格。この頃は仕事や遊び優先で、継続する学習意欲も強く持っていなかった。あまりにも軽い気持ちで入学していました。

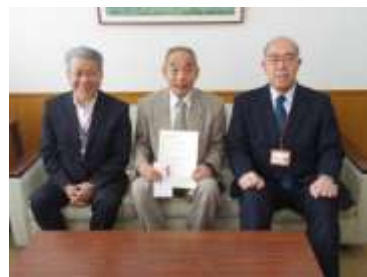
20年後の2007年、大学卒業を目指して再入学。事情で海外で働くことができなくなり、その結果として時間に余裕ができました。その時自分にできること、これまでにやり残した事を実行する。そういう訳で再入学しました。

当初の目標、3年間で124単位取得。大量に送られてくる教科書。一部の科目を除いて初めての分野ばかり。どうやって勉強すればよいのか見当もつかない。放送教材を視聴し、教科書を読み、がむしゃらに知らない言葉や分からない所に赤ペンや蛍光ペンでアンダーラインを引く。それでもどれが重要な事なのか判断がつかない。すぐに通信指導提出期限が迫り、内容が理解できないまま期末試験がやってくる。結果は再試にならなかつただけで、さんざんなものでした。

まず勉強の仕方を学ばなくては。図書館から様々な学習方法の本を借り読みまくりました。サークル「放友会」に入会し、先輩たちからの貴重なアドバイスを頂きました。そして4年後に無事卒業することができました。

ご参考までに、以下は自分なりの学習方法をまとめたものです。

科目選択、当たり前なことですが、簡単な科目から難しい科目の順に選ぶ。具体的には「授業科目案内」科目の説明にある平均点に



注目して、平均点50点の科目より80点の科目を先に履修し難しい科目は後回し。これで再試験を避けることができます。単位を積み上げてゆくことで自信を持てるようになってきました。

科目登録をする前に、図書室で教科書にざっと目を通して相性を判断。さらに過去問題を入手して解く。10問のうち何問とけるかで、その科目の自分にとっての難易度、他の科目との関係で、学習時間の割り振りの見当をつけます。

学習、1科目あたりの学習時間を増やすために試験直後の2月と8月から次学期の学習を開始(教科書は図書室、視聴覚室にあります、地元の図書館にあることも)。動画は1回きりでも、教科書は最低5回読む。2回目以降は通信指導や過去問と合わせて学習。教科書を読むスピードが順を追って速くなり、何が大切な項目なのか理解できるようになりました。それでも苦手な科目や記憶重視の科目は写本。特に語学は他教科の2倍以上の時間がかかります。音読筆写を何度も繰り返

しました。試行錯誤を繰り返し自分なりの学習スタイルが少しずつ身についてきました。

2016年3月3回目の卒業、4月には4回目の入学をしました。放送大学が自身のライフスタイルの一部となっています。学習の成果として、「空間と時間の遠近法」、「過去の時点から現在を見る視座」「多面的な思考」など考え方が少しわかってきました。新たな語学の世界にも足を踏み入れています。英語サークル「うえるかむ」の仲間と英単語を使ったスクラブルゲームで、苦手な英語を少しでも楽しく学べればと思います。通信制大学でも大切なことは人との繋がりで。サークルや面接授業で知り合った人との繋がりが、諦めずに学習を続ける良い刺激になっています。

学習を一度投げ出してしまっても、温かく受け入れていただいた放送大学に再度感謝し、放送大学と神奈川学習センターの発展を心よりお祈り申し上げます。

平成28年度1学期入学者の集い

4月3日神奈川学習センターにて、平成28年度1学期「入学者の集い」が開催されました。神奈川学習センターの入学者は、学部生1,386名院生204名。会場には、このうち学部生242名、院生13名が集いました。



集いは、池田所長の式辞に続き、佐栞同窓会長と16名の客員教授からの祝辞が述べられた後、学習

センター利用の説明等のオリエンテーション、そしてサークル等のPRで計3時間超でした。入学者の意識は高く、「先生方のお話に感銘した。」「たくさんの仲間が居ることがわかり勇気が出た」という感想などがありました。



春のフェスタとサークル合同発表会

神奈川学習センターの学園祭行事、春のフェスタが、3月6日開催されました。

公開講演会は、横浜国立大学名誉教授で、元神奈川学習センター所長の神代和俊先生をお招きして「公的年金は大丈夫か?〜『世代会計論』批判〜」。80歳を超えても、所長時代とかわらない歯に衣を着せぬ語りぶりは健在で、「年金制度は心配ない。積み立て方式の考えを根拠に、年金がだめだという者が居るが、制度が始まったときから実



質的に賦課方式で行ってきっていて、社会扶養として考えれば、永続できる制度である。」との論を展開されました。そして、十年ぶりの神奈川学習センター学生との交流を楽しまれていました。

春のフェスタは、同日「風に立つライオン」の上映。また、3月12日には、サークル成果発表会として、ウズベキスタン・サマルカンド外国語大学の胡口靖夫名誉教授の講演「ウズベキスタンの仏像から見た奈良のほとけたち」〜シルクロードの美術史的な役割〜と、「社会貢献活動」講演会、そして、「第九を楽しむ」の公開練習が、行われました。

ゼミ・研究会のご案内

○平成28年度神奈川学習センター開講ゼミ・研究会一覧				平成28年5月19日現在
①客員教授開講ゼミ				
教員	ゼミ名	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先
有馬 眞	地球科学ゼミ	原則月1回	5/24(所外)	arima@ynu.ac.jp
杉田正樹	哲学カフェ	原則第4土曜日	4/23	msugita@kanto-gakuin.ac.jp
中嶋俊夫	第九を楽しむ	原則月2回(土・日)	4/9、5/7	http://gassyoh.yumesora.net
種田保穂	種田ゼミ		4/21、5/20	taneda@ynu.ac.jp
角 洋一	角ゼミ		4/12(所外)	sumi@ynu.ac.jp
遠山紘司	遠山ゼミ		4/14、5/19、6/30	kmymt@olive.ocn.ne.jp
②元客員教授開講ゼミ				
教員	ゼミ名	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先
藤原 一繪	植生研究会	原則第2木曜日	4/21、5、12(所外)、6/9(所外) 7/7、9/8、10、13(所外) 11/17(所外)、12/8	syokusei@yakatsu.org
影井清一郎	科学の散歩道研究会	原則第3土曜日	4/23、5/21、6/18	kagei@ynu.ac.jp
浅野 幸弘	浅野ゼミ	原則第2木曜日	4/14、5/12、6/9、7/14、8/18 9/8	yasano37@ynu.ac.jp
③元放送大学教員開講研究会				
教員(顧問)	研究会名	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先
天川 晃	放送大学ガバナンス研究会	原則第2土曜日	4/9、5/7、6/18、7/3	jkaz5529@gmail.com
柏倉康夫	三無会	不定期開催	6/4	miyako.f71417@jcom.zaq.ne.jp

Kーサポートからのお知らせ

○学習相談チーム

今学期の学習相談は、6月19日までの土曜日と日曜日、午後1時から午後3時50分の間、2階談話室の相談コーナーで行っています。予約は不要です。放送大学での学習に関して困っている点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。

○2015年度Kーサポート発表会

3月10日、Kーサポートの全5チームと関係者が集い、2015年度の活動実績と、2016年度の活動計画の発表が行われました。会場には、ボランティア活動について関心を持つ学生が見学に来て、サポーターの参加動機など話を聞いていました。



○パソコンサポートチーム

パソコン基礎講習会

- ・5月28日(土曜)13:00～15:50
「通信指導の提出、試験過去問題の閲覧」
- ・6月15日(水曜)13:00～15:50
「復習&Word超入門」
- ・8月23日(火曜)13:00～15:50
「科目登録の提出」

※各回定員15名、各回ごと申し込みが必要です。学習センター事務室で、お申し込みください。

OUJ神奈川学習センターだより編集部

家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、宮崎、三国、和田
(50音順、以上、Kーサポート機関紙編集チーム)

垣谷(Kーサポート事務局)
宮崎(学習センター事務室)

学生サークルからのお知らせ

○うえるかむ Kanagawa

私達は楽しく英語を学んでいるサークルです。

☆例会: 毎月第2、第4水曜日(試験月等は変更あり)

午前: Benny class(カナダ出身の先生、3クラス)

午後: English songs & Group study(4グループ)

☆8月～10月の予定

*8月24日午後「暑気払い」

*8月31日午後「名画座」

*9月3日フェスタ・ヨコハマ(大岡寄席担当)

*9月4日フェスタ・ヨコハマ(コーヒーショップ担当)

☆活動の様子は下記HPをご覧ください。

<http://welcome-kanagawa.jimdo.com/>

☆皆様の見学をお待ちしています。

問合せ: 片野眞明 045-741-0246

masaaki_katano@hotmail.com

○韓国語同好会

★月例会 第2、第4土曜日

① 10:00～11:30 初級クラス

② 11:30～12:00 ミーティング(全員)

③ 12:00～13:30 中級クラス

④ 13:30～14:30 自主学習(「サランバンソンニムとお母さん」読書会)

★講師 横浜国大大学院生 林恵園先生

★問い合わせ 神奈川サークル協議会のホーム

ページからどうぞ。

<http://kcc-ouj.net/dantai/hangugo/> (代表: 斎藤)

○放大かながわレク・サークル

★パソコン部: 個人のニーズに応じた学習。

学習日時: 第2、第4木曜日 13時30分～

15時30分。

場所: 神奈川学習センター 実習室: 申込制

★ウォーキング部: 2ヶ月に1回、「東海道五十三次」

実施中。名所旧跡文化 施設等も対象

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

—会員募集中(随時申込・受付)—

問合せ: 島田 義治 Tel 090-3907-8384

E-mail simada.yosiharu@coral.plala.or.jp

○神奈川合唱団

♪ 合唱団の皆さんと一緒に

楽しく歌って見ませんか ♪

今年も学位記授与式(3/26)にNHKホールで、放送大学「学歌」を総勢60名の皆さんと一緒に歌い、卒業生・修了生をお祝いしました。

今学期は、「学歌」や「ふるさと」などを練習しており、2学期「入学式」に歌う予定です。

☆場所: 大岡地区センター音楽室(2F)

☆日時: 毎月第1・第3水曜日 18:00～20:30

問合せ 馬場信一 s.andante.b3682@docomo.ne.jp

高野義信 seiza_olion@docomo.ne.jp

○人間学研究会

例会発表

神奈川学習センターにて 原則毎月第一土曜または第一日曜13:00より

6月～8月までの例会予定

6月4日(土) 国号「日本」の成立とその後第6講義室

7月 3日(日)「介護保険」NHK報道番組を見て介護問題を考える 第8講義室

8月 6日(土) (内容未定・講義室未定)

※講義室は変更になる場合があります。

会員の寄稿による会誌「せせらぎ」を毎年10月発行。

今年27号を発行予定。(原稿募集中)

ウォーキング・探鳥会・演劇鑑賞・美術館めぐり等の行事もあります。会員随時募集中

問合せ: 小林鋭子 E-mail: d52n66su_yoof@ybb.ne.jp

片野賢治 E-mail: mt.dream@jcom.home.ne.jp

○資格取得研究会

看護・福祉分野を中心にキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。現在、大学卒を目指す看護師の方、看護、医療、福祉関係のキャリアアップと認定心理士を取られる方などがいます。内容は、例会(情報交換)と講演会の聴講など。

これからの例会予定

・6月19日(日)10:00～ 第7講義室

・7月17日(日)14:30～ 講義室未定

会費: ¥500(1年間)

ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>

お問い合わせ…080-5546-7913(はこぎき)

○ダンスサークル(社交ダンス)

場所:神奈川学習センター第7講義室
 曜日:第2・第火曜日 *第1・第3火曜日自主練習
 時間:午後2時～4時 講師:菊島弘明・ユリ子
 会費:1か月 1500円

活動内容:社交ダンス(モダン、ラテン)の学習(ダンスパーティーで踊れるレベルに)

ダンスはスポーツです。健康増進(特に、姿勢が良くなる)、ストレス解消に、楽しく踊りませんか!! 人生がより明るくなります。不定期ですが、1泊での実習旅行も実施しています。初めての方も楽しく踊っています(初心者、歓迎!)

また、全科履修生の方は30時間のレッスンで、体育実技1単位を取得できます。

連絡先:宮川京(代表)TEL:045-933-9753

○神奈川放友会

豊かで実りある学生生活を共有することを目的に、「学び」と「触れ合い」を柱とする幅広い活動を展開し、130余名の会員から強い支持を得ているサークルです。

☆学びの場の活動

○パソコン勉強会 6月8日(水)、6月15日(水)

講座内容:Power Pointでプレゼン用スライド作成・発表
 ○クラシックを楽しむ会 7月11日(月) 横浜みなとみらいホール

☆触れ合いの場の活動

○6月旅に行こう会 6月12日(日)

歌舞伎鑑賞(国立劇場)と東京国立近代美術館見学

☆毎月の活動:俳句の会、書に遊ぶ会、女性の会、詩游会他

詳しくはWebで、<http://kanagawa-hoyukai.jp>

入会申込・問い合わせ先:山崎正之

info@kanagawa-hoyukai.jp

○中国語学習会

継続は力なり、楽しく学べれば継続は可なりです。会員相互の親睦を図りながら、少しずつ前進、中国語の面白さをともに味わいませんか。全くゼロからスタートの方も、以前学んだことあり試してみたい方も大歓迎です。

*学習日:第1、第3日曜日(原則)

午前の部 告旭平先生 10:00-11:00「本気で学ぶ中級中国語」趙玲華著を教材に文法学習 11:15-12:00
 テーマを決めた自由会話

午後の部 唐斌先生 13:00-15:00「中国語Ⅰ'14」放送大学教材にて発音練習を繰り返し基礎が固まったら、通じる喜びを実感できます。どの時間帯でもすべて参加できます。

*お問い合わせ e-mail:snuf.708w@ezweb.ne.jp

tel.080-3552-2497 和田

○放送大学西洋音楽史研究会

☆毎月一回「文京学習センター」にて勉強会を開催

佐々木先生による講義と関連する音楽を聴き、質疑応答などとおして、西洋音楽史の知識、理解を深めることを目標に活動を行っています。

古代から中世・ルネッサンス・バロック時代後半へと勉強会も32回と回を重ね、もうすぐ話題は大バツハとなります。今後、勉強会は、古典派・ロマン派・現代へと展開する予定です。

☆今後の勉強会予定

6月18日(土)13:30-17:00文京学習センター 講義室10

7月3日(日)13:30-17:00文京学習センター 講義室5

※8月以降はお問い合わせ下さい。

☆講師:佐々木勉 先生

(慶應義塾大学非常勤講師/元名古屋音楽大学教授)

☆お問合せ seionken.ouj@gmail.com

神奈川同窓会だより

“行くところがある・会う人がいる”

そこは同窓会“弘明寺サロン”です

☆弘明寺サロンおよび会内同好会

①春の行事 6/3“新入会員を歓迎する”

大型ヨット『やまゆり』でのセーリングを楽しみます(江の島でのヨット体験です。)

*同窓会会員の他一般学生大歓迎

②弘明寺サロン 6/11PM(詳細未定)

③茶道同好会→原則:各月第3水曜日開催

HP:→<http://hatoh.net/>

お問い合わせ…045-333-4426 金田 保男

学習センター共催公開研究会のお知らせ

ガバナンス研究会公開研究会

御厨先生と「権力の館」を見る

7月3日(日)13:30～第3講義室

解説 御厨 貴先生(放送大学客員教授)・佐藤 信先生(東京大学助教) 建築と政治や空間の政治学を考えるには、視聴覚映像が一番である。放送大学のテレビ番組を最大限に利用して、今般「権力の館を考える」を完成させ、毎週土曜日、午後7時から45分間、15回にわたりお茶の間にお届けしている。これを見ながら、われわれに身近な「地方の館」について広く深く考えたい。

討論 松井 望先生(首都大学東京准教授)

※放送教材第5回 地方の館を視聴します。

本研究会は公開ですが、参加希望者は神奈川学習センターにご連絡ください。電話:045-710-1910
 メールの場合は件名に「ガバナンス研究会参加」と記載してください。メール:kanagawa-sc@ouj.ac.jp

◆学習センターからのお知らせ

◆28年度第2学期学生募集(詳細は募集要項を熟読すること。)

<学部・修士選科・修士科目>

募集要項配付	28年	6月15日(水)	～	9月20日(火)
出願受付(第1回)	28年	6月15日(水)	～	8月31日(水)
出願受付(第2回)	28年	9月1日(木)	～	9月20日(火)
授業開始	28年	10月1日(土)		

◆29年度大学院全科学学生募集(詳細は募集要項を熟読すること。)

<修士全科・博士全科>

募集要項配付	28年	6月15日(水)	～	8月31日(水)
出願受付	28年	8月15日(月)	～	8月31日(水)
第1次選考(筆記)	28年	10月2日(日)		
第1次選考可否通知	28年	10月28日(金)		
第2次選考(面接試問)				
<修士全科>	28年	11月19日(土)	又は	20日(日)
<博士全科>	28年	11月13日(日)		
第2次選考可否通知	28年	12月9日(金)		
入 学	29年	4月1日(土)		

◆通信指導の提出期間等(詳細は「学生生活の栞」を熟読すること。)

《郵送提出》

28年5月24日(火)～6月7日(火) 必着

《Web提出》

28年5月17日(火) 午前10時～6月7日(火) 午後5時まで

<留意事項>

提出後、添削結果が、

A. 「択一式科目(併用式科目の択一部分)」の場合は、7月8日(金)までに、

B. 「記述式科目(併用式科目の記述部分)」の場合は、7月19日(火)までに、

未着の場合は本部(043-276-5111)へ問い合わせること。

※未提出及び期限までに到着しなかった場合は、単位認定試験を受験できません。

◆単位認定試験期間(詳細は「学生生活の栞」を熟読すること。)

<学 部> 28年7月24日(日)～7月31日(日)(25日(月)と29日(金)を除く)

<大学院> 28年7月22日(金)～23日(土)

<留意事項>

7月14日(木)までに受験票が未着の場合は本部(同)へ問い合わせること。

◆2017年度履修者向け卒業研究履修ガイダンス

下記日程で標記ガイダンスを実施します。2017年度に卒業研究の履修を希望される全科履修生は、この機会に是非、事務室窓口又は電話でお申し込みください。

日時：平成28年7月2日(土) 午後1時15分から2時45分

場所：2階第8講義室

お問い合わせ：放送大学神奈川学習センター

電話045(710)1910 (月曜日・祝日等を除く、9時10分～17時40分)